

# 移民：日本における社会文化の新たな展開

## 社会文化学会 第27回全国大会

2024年12月14日(土)・15日(日)

立教大学池袋キャンパス

エクスカージョン:12月13日(金)

12/14(土)

シンポジウム 13:30~17:00

### 移民：日本における社会文化の新たな展開

報告1 「多文化共生」とは何か？——移民社会・日本における「移民政策」の現在

鈴木江理子(国士舘大学/NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連)/  
認定NPO法人多文化共生センター東京)

報告2 フィールドワークを手がかりにしたミニ・ユートピア論

光野百代(獨協大学)

コメンテーター

平野泉(立教大学共生社会研究センター)

桔川純子(明治大学兼任講師)

12/15(日)

自由論題 9:30~12:30

課題研究 14:00~16:30

### 1 「社会文化」としての保育 都市とへき地の視点から

話題提供

針尾政幹(社会福祉法人多摩福祉会 こぐま保育園)、長津詩織(名寄市立大学)

### 2 ファンタジーと現実 サブカルチャーはどのように包摂/排除につながるか

報告1 ファンタジーか現実か?——日本とタイのBLドラマにおける男同士の親密関係の表現に関する考察

張瑋容(同志社女子大学)

報告2 現代日本ファンタジー作品に憧れる欧米のオルタナ右翼・急進右翼

——白人中心主義的な日本産作品に共鳴する白人抑圧妄想を巡って

エスカンド・ジェシ(早稲田大学)

会員・非会員問わずご参加いただけます

二次元コード、または社会文化学会ホームページからご登録ください

社会文化学会HP <https://japansocio-culture.com/>

参加費：一般 1,500 円、大学院生 1,000 円、学部学生 無料

非会員1日だけの参加の場合1,000円

懇親会費：一般 4,000円、院生・学部生 3,000円



# 社会文化学会第27回全国大会

2024年12月14日(土)・15日(日) 立教大学池袋キャンパス  
エクスカッション:12月13日(金)

## 12月14日(土) 11号館 A301

・ 13:00 受付開始

### ■シンポジウム(13:30~17:00) テーマ 移民:日本における社会文化の新たな展開

報告1 鈴木江理子(国土館大学 / NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連) / 認定NPO法人多文化共生センター東京)

「多文化共生」とは何か?——移民社会・日本における「移民政策」の現在

報告2 光野百代(獨協大学)

フィールドワークを手がかりにしたミニ・ユートピア論

コメンテーター 平野泉(立教大学共生社会研究センター)、桔川純子(明治大学兼任講師)

司会 大西弘子(神戸医療未来大学)

### ・懇親会(17:30~19:30)

会場 立教大学レストランアイビー(立教大学池袋キャンパス 5号館地下1階)

懇親会費 一般 4,000円、院生・学部生 3,000円

## 12月15日(日) 本館

・ 9:00 受付開始

### ■自由論題(9:30~12:30)

・ A室(1101教室)

報告1 シャー アラム モハッド 日本の労働力不足問題と技能実習生受入れの実態

報告2 大庭フランス光瑠 公共圏・親密圏としての「たまり場」が促す民意醸成——インドネシア都市部におけるノンクロン文化に着目して

報告3 関口英里 伝統文化の新たな展開とレガシーの継承に向けた試み——グローバルな文化交流イベントとの連携を通して

報告4 吉成哲平・三好恵真子

再帰的な撮影行為を介して拓かれていく「記憶の継承」の可能性——写真家たちが表現し続けた「戦後」を「写真実践」より問い直していく意味

・ B室(1102教室)

報告1 橋那由美 月経衛生対処のアクションリサーチ——看過されてきた事象あるいは新たに生じた事象

報告2 笹谷絵里 ナースキャップをめぐるジェンダー——少女マンガにおける戴帽式の視点

報告3 池見真由 先住民観光による文化の保護・活用と社会的・経済的・教育的効果に関する考察

報告4 和田悠 「社会文化」としての保育研究序説

・ C室(1103教室)

報告1 遠山一明 「同調圧力」を生み出す社会的背景の考察

報告2 清原悠 地域での出版流通網の構築を目指して——模索舎からほんコミニケート社へ

報告3 早坂めぐみ 「教育格差」概念に関するループ効果の検討——大学生による記述の分析から

報告4 池谷江理子 高知県における人口減少とその背景要因

■総会(12:45~13:45) 1202教室

### ■課題研究(14:00~16:30)

#### 課題研究1(1203教室) 「社会文化」としての保育 都市とへき地の視点から

話題提供

針尾政幹(社会福祉法人多摩福祉会 こぐま保育園)

長津詩織(名寄市立大学)

司会 和田悠(立教大学)

#### 課題研究2(1204教室) ファンタジーと現実 サブカルチャーはどのように包摂／排除につながるか

報告1 張瑋容(同志社女子大学)

ファンタジーか現実か?——日本とタイのBLドラマにおける男同士の親密関係の表現に関する考察

報告2 エスカンド・ジェシ(早稲田大学)

現代日本ファンタジー作品に憧れる欧米のオルタナ右翼・急進右翼——白人中心主義的な日本産作品に共鳴する白人抑圧妄想を巡って

司会 清原悠(立教大学)

## 12月13日(金) 15:30~エクスカッション

タワマン型再開発の現場を歩き、外国人支援の拠点を訪ねる——再訪・東京都板橋区大山

場所 東京都板橋区大山

## 会員・非会員問わずご参加いただけます(事前登録はこちらから)

当日参加も受け付けますが、可能な方は下記口座に参加料振込みの上、ウェブフォームにて参加登録をお願いします。

登録フォームへは二次元コードから、または社会文化学会ホームページからアクセスできます。

参加費:一般 1,500円、大学院生 1,000円、学部学生 無料

非会員1日だけの参加の場合1,000円

懇親会費:一般 4,000円、院生・学部生 3,000円

お問い合わせ 社会文化学会第27回全国大会事務局

taikai27@japansocio-culture.com

参加登録フォーム <https://forms.gle/thKnWT72xhKCwYMo9>

社会文化学会HP <https://japansocio-culture.com/>

